

—市民の皆さんの声をよく聞き、考え、「行動」でこたえます。—

中学生までの医療費無料化 2020年1月から

現状では、松山市の医療費無料化は入院が中学生まで、通院が未就学児までです。県内市町で、小中学生の通院費助成に手つかずなのは本市のみとなっていますが、通院費を含めた中学生までの医療費無料化が、2020年1月から実施のめどが立ちました。

- ・所得制限や一部自己負担などの制限はありません。
- ・患者側の窓口負担がない現物給付です。

関連予算案などは6月議会に上程される予定ですので、進捗状況は後日、お知らせいたします。



昨年6月14日、みらい松山など市政与党3会派は、中村時広知事に対して、「乳幼児医療費助成事業の県費補助の引上げについて」の要望書を提出いたしました。

今後、地方創生へ向け、少子化対策を進めるためには、すべての子育て世帯に対する、経済的支援を適切に実施していくことが重要だと考え、県への協力を求めた次第です。そのことがようやく実現することは、嬉しい限りです。

スポーツの力で松山を元気に!

①えひめ国体・大会から約2年が過ぎようとしていますが、現在、スポーツの振興や、スポーツを通じた健康づくりや生きがいづくりに取り組んでいる議員は、限られています。

また、議員が一人ひとり、個別に行動しては、活動を広げることにはできません。そこで、会派をこえて、「スポーツの力で松山を元気にしたい」という有志を募り、活動を行っていきたいと考えています。



②(株)フジpresents プロ野球公式戦開催!

4月16日に(株)フジpresents「東京ヤクルトスワローズVS阪神タイガース」が坊ちゃんスタジアムで開催されました。地元企業のご尽力のおかげで、松山市でプロ野球公式戦が開催されることを、喜びを感じながら、私も観戦いたしました。



プロ選手のプレイを間近で見て、感動し、元気をもらった人も多いのではないかと思います。

⇒ヤクルト村上選手は、数少ない、スイングだけでお客を呼べるバッターだなと感じました。また、今年のヤクルト打線はバランスがよいです。

